

愛媛県立中央病院整備運営事業のうち建設業務説明会議事録

1. 日 時：平成22年4月14日（水）19：00～
2. 場 所：県立中央病院 仮設プレハブ研修棟 講堂
3. 出席者：近隣住民 27名
(春日町、末広町、泉町、室町、藤原水利組合、その他)
愛媛県公営企業管理局県立病院課新中央病院整備室、県立中央病院

主催者：愛媛ホスピタルパートナーズ株式会社、大成建設株式会社

4. 説明会の議事

(愛媛ホスピタルパートナーズ)

本日は、お寒い中、お集まり頂きまして有難うございます。

7時になりましたので、説明会の方を開催させて頂けたらと思います。

それでは、只今から愛媛県立中央病院整備運営事業のうち建設業務の説明会を開催させて頂きます。宜しくお願い致します。

それでは、当社、愛媛ホスピタルパートナーズの社長より一言ご挨拶させて頂きたいと思っております。

(愛媛ホスピタルパートナーズ 社長)

こんばんは。愛媛ホスピタルパートナーズの社長でございます。私共、県から事業の委託を受けまして、当建物の設計と建設を進めている会社でございます。一昨年9月より今回の計画を進めて参りまして、いよいよ今週の土曜日、来週の月曜日で、病院の出入口の切り替えを行いまして、来月の終わり頃から本体工事を始めさせて頂きます。本日はそれに伴いまして、本体工事の新築の建物の形状並びに工事を中心としてご説明させて頂きますので宜しくお願い致します。

(愛媛ホスピタルパートナーズ)

それでは、まず始めにですね、今回の議事録等につきましてのご説明をさせて頂けたらと思います。前回、平成20年の12月に実施致しました説明会の議事録等でご要望により議事録を愛媛県のホームページに公開させて頂いております。今回も同様の形をとらせて頂こうと思っております。議事録は愛媛県のホームページの方に公開するとともに、町内会長さんを通じまして各町内の方へも回覧をお返し致します。それから、議事録につきましては、発言者の皆様のご氏名は匿名とさせて頂いております。また、今回も議事録の作成の都合上、録音をさせて頂けたらと思います。それから、これから説明に入っておりますが、皆様からご質問等は、項目毎に途中ではさんでいこうと思いま

す。ご質問頂く方につきましては、お住まいの町名、それからお名前を頂戴頂きまして、質問の開始とさせて頂けたらと思っております。それから、本日の説明会、だいたい1時間位を予定させて頂けたらと思っております。宜しくお願い致します。それでは、説明の方に入らせてもらいます。すみません。座って説明させて頂きます。

それでは、今までの建替え工事の進捗の方のお話をさせて頂けたらと思えます。まずは、これまで実施させて頂きました説明会の実施状況についてお話させて頂きます。まず1回目としましては、平成19年の9月、県立中央病院の元の講堂の方で開催させて頂いております。それから第2回目が平成20年の10月31日、同じく元の講堂の方で開催させて頂きました。それから第3回目としまして、同じく平成20年の12月18日、同じく元の講堂の方で開催させて頂きました。今回の説明会につきましては、一昨年10月に実施されました第2回目の説明会の時に、今回、こういう形式の説明会を開催しますという事でご説明させて頂きました事を受けまして、第4回目という形で本日開催させて頂きます。それから、前回の説明会におきまして、大型車両の工事に伴います動線等について協議を致しましょうという形をとらせて頂きました事もありまして、建築工事の関係者の連絡会議という形で、町内会長様、他水利の方等に参加して頂きまして、平成20年の12月25日から協議会が設立される前に2回会議を行い、平成21年の4月2日を第一回としまして、建築工事の関係者連絡協議会を開催させて頂いております。8月7日に第2回目、それから第3回目が昨年12月24日、それから第4回目が今年の4月7日という形で、こちらの病院の向かい側にございます今回の建設にあたりまして作りまし現場事務所の1階の会議室で開催させて頂いております。

それでは、工事の概要についてご説明をさせて頂いたらと思えます。前回もご説明致しました工事概要でございますが、まずは工事の概要の方を簡単にご説明させて頂きます。まず、1号館。こちらの方は延床面積が約66,700㎡。階数としましては地下が2階、地上が12階、塔屋2階という階数でございます。それから、主要構造と致しましては鉄筋コンクリート造で免震構造をとらせて頂いております。それからベット、病床数ですが、これが823床。という工事概要になっております。それから、右の方に3号館、これは周産期センターの方ですが、改修工事として工事を進めてまいります。建物は延床面積約7,700㎡。階数は地下が1階、地上8階。建物の構造は鉄筋コンクリート造でございます。それから、そのすぐ下に医師公舎を表記してございますが、ちょうど今皆さんが会議をしております、この場所になります。医師公舎をここに新築致します。延床面積は約3,500㎡、階数は地上6階、主要構造としては鉄筋コンクリート造で計画をしております。それから屋外の方としまして、南側に立体駐車場が「立体駐車場(1)」、「立体駐車場(2)」の2棟、それから平面の駐車場を設けます。「立体駐車場(1)」の方が、今、道路に近いところで立ち上げさせて頂いておりますが、延床面積が約5,600㎡、台数が249台、階数が5層6段、主要構造は鉄骨造でございます。それから「立体駐車場(2)」、これは奥側になりますが、420台程度を予定しております。延床面積が7,800㎡、階数が3層4段、主要構造は鉄骨造でございます。

次のスライドは病院の完成予想図、南から見た形をイメージしてございます。その次のスライドが北西方向から見たパースでございまして、北側の日影とか、圧迫感、周囲の視線等を抑えるように配慮した形を計画させて頂いております。それから、次が全体の工程をあらわしてございます。昨年の1月に元の医師公舎の解体工事に着手致しまして、今は平成22年4月というところで、立体駐車場解体工事の前、新立体駐車場（1）という工事のところに進んでおります。それから平成22年の1号館工事の欄がございまして、こちらの方は6月あたりから準備工事の方を進めてまいりたいと思っております。現在は2013年、平成25年を6月の供用開始を目指しまして進めていっております。

前回のご説明の時からこれまでの工事の中で、皆様にご説明した主な内容の中で変更してまいったところとしましては、「地下水槽（1）」というのを作らせて頂きました。これは、元々は先程の1号館の地下に設置する予定でございましたが、なるべく地下の面積を小さくしようという事で、水槽を外に出しまして、地下水への影響等を可能な限り少なくしていこうという事で考慮しまして、地下水への影響の可能性や工事車両による混雑を低減する為に変更を致しました。

それでは、ここまでで何かご質問ございますでしょうか。

< — 意見なし — >

それでは、続きましてこれから着工してまいります1号館の新築工事についてのご説明をさせていただきます。説明につきましては、大成建設から行います。

(大成建設)

宜しくお願いします。座ってご説明させていただきます。

先程も申し上げましたように、今週末、病院の入口が切替わります。現在、駐車場になっているエリアですね。そちらがこれから工事エリアに切替わってまいります。その後の工事のスケジュールを表で簡単にご説明します。

まず、今あります既存の立体駐車場、今度新しい立体駐車場に切替わりますので、既存の立体駐車場の解体工事を一番に始めます。そこで一部石綿の撤去工事を先に行いまして、6月の始めから上部の躯体、鉄骨とかコンクリートの撤去を行います。6月の半ばから基礎のコンクリート・鉄筋等の撤去を行います。6月の末までで解体工事が完了する予定でございます。それと並行しまして、地下水槽の工事を今月末より着手致します。深さが6m位なので、まず山留工事を行います。その後、5月の連休明け頃より掘削工事に着手致しまして、5月末頃から水槽の躯体工事、鉄筋・コンクリートの工事を行います。これが約2ヶ月強かかりまして、8月上旬に水槽が完成しましたら、埋戻し工事を行います。その後は外側からは見えなくなりますが、水槽内部の仕上げ工事を8月中旬頃より開始する予定でございます。そしてメインの1号館、これが本体になりますが、5月

末に起工式を執り行いまして、6月から本格的な工事に着手致します。こちらも後で説明しますが山留工事を先行致しまして、7月の月上旬頃より掘削工事が開始されます。山留の支保工として支えとなりますアースアンカー工事が8月頃より開始されます。その地下の工事を進める為の仮設の栈橋工事を同じく8月の月上旬頃よりスタート致します。

つぎに全体の仮設に関しての説明を致します。まず入退場のゲートの方ですが、現在、西側の道路に既に設置されておりますが、入口を2箇所、西側の市道に面しまして設ける予定でございます。それと、北側道路、これが現在も病院の入口になっております所に同じくゲートを1箇所設置する予定でございます。後程、図面の方で説明します。地下工事に関しまして、山留工事はSMW工法といいまして、セメントと土を混ぜ合わせて構築致します。これは非常に止水、水を通さない壁でございまして、地下水への影響を極力無くす為の止水壁を採用しております。なお、その支保工に関しましてはアースアンカーといいまして、よく山の地滑り防止に使われますが、土の中にアンカーをしまして山留を支えるという工法でございまして。あと、先程説明しました仮設の栈橋、構台ともいいますが、これは穴を掘っていくとそこに車が寄り付いていけないので、仮設で栈橋を設置致します。地上についてはメインの揚重、資材の揚げ降ろしの為にタワークレーンを2機設置する予定でございます。

先程申しましたSMW工法の特徴は高い遮水性という事で、地中に約27mの止水壁を設けます。この壁は先程言いました通り、セメントと土をミックスさせまして連続で一体の遮水壁となります。よく道路とかで見かけるのは鉄板の矢板というものなのですが、そういうものに比べても非常に水を通さない、遮水性に優れた山留壁になっております。この壁を設けることによって周辺と完全に水の縁を切るような形になります。地下約18mから20m付近に不透水層、水を通さない層ですね、これは主に粘土質の層なんですけど、それがございまして、それより深くこの壁を設けることによって周りの地下水が下がらないというような工法でございまして。当然工事をする為に水を汲み上げるのですが、その汲み上げる水というのは遮水壁で囲まれた中だけの汲み上げになりまして、周辺の地下水が下がらない工法を選定しております。

次に（配布資料1号館工事（地下）における、現在の本院をさして）ここが現在ある病院でございまして。今完成しました「立体駐車場（1）」がこちらになります。既存の駐車場をこちらに切替えた後、既存の駐車場の解体工事が始まります。「地下水槽（2）（3）」は解体工事と並行で行われ、1号館というのがほぼエリア全体で工事が行われます。

これが地下工事の計画図でございまして（会場において画面で表示）。先程の1号館の建物の外郭がこのようになります。これが西側の市道ですね。右折レーンが出来まして、敷地が後退された状況の画になります。これが先程申しました仮設構台、栈橋というものになります。この断面はこうゆう形状になっております。こちらを移動式のクレーン、生コンのミキサー車等が走るというものでございまして。先程言いましたゲートですが、西側の道路に面しまして2箇所という事で、基本的には（西側道路に面したゲートのうち北側をさして）手前側が中に入る入口ですね。（西側道路に面したゲートのうち南側を

さして)こちらが外に出る出口という事で考えております。北側のゲートは(北側道路に面した現在の病院入口をさして)こちらになります。こちらにゲートを設けまして、こちらからの搬出入という事も考えております。先程言いました止水壁を外周部分に打ちまして、中の汲み上げた水で外に影響がないように考えております。(画の山留壁から外側に書かれた線をさして)こちらが先程言いましたアースアンカーというもので、この止水壁を土で引っ張って、この壁が倒れてこないような工法をとっております。この壁が壊れますと、周囲の道路や建物に影響を与えますので、その無い安全な工法を採用しております。

続きまして、地上の計画でございます。先程言いましたようなタワークレーンが2箇所、2台の設置を予定しております。ゲートの位置は同じです。その頃には地下水槽は既に地下に埋まっておりまして見えない状況になります。(西側道路に面したゲートから入った部分をさして)こちらが搬入・荷捌きのヤードでございます。一部、北側の方からも資材の搬入等を行う予定でございます。工事エリアは完全に仮囲いで区画されておまして、病院への入口が(東洋医学研究所西側をさして)こちらになります。完全に隔離し、ゲートには警備員を配置しまして、歩行者等の安全を保っていきたいと考えております。これが地上の仮設の計画図でございます。タワークレーン2台を1階の床からあげまして、クライミングと言いまして尺取虫のように上にあげながら工事を進めてまいります。ゲートの方は変わりなく西側に2箇所、入口と出口。北側にも1箇所。作業員の休憩所等も敷地の中に設けまして、周辺に影響を及ぼさないように考えております。車両の動線は後から説明致しますが、基本的には北側から左折で中に入って、出る時も左折して出る。右折で止まっていたりすると渋滞の原因になろうかとおもいますので、基本的には「左折、左折」で北から南への動線を現在考えております。これがその画でございますが、町内会長様等と開催しております工事連絡協議会では、その都度確認をとりながら進めておりますが、今のところ北側から南側でご了解頂いて工事を進めております。メインの動線はこの西側の市道なんですけど、先程ありました北側のゲートの方から入る事もありますので、サブの動線という事で北側の道路も工事車両が通行する事となります。車両につきましては、南に抜けた車が土手の所までちゃんと出るルールにしておりましたが、一部(県病院から石手川の土手に向かう途中の狭い道をさして)こちらの狭い道を通る車がありまして、近隣の皆様からご指摘頂きました。ルール違反をしまった事をこの場を借りてお詫び申し上げたいと思います。今後もののルールの徹底を図っていきたくと思っておりますので、また何かありましたらご指摘等頂きたいと思っております。車両に関しましては、前回説明致しておりましたが、最大で1日延べ200台位が想定されております。現在、車両を大型化したりして、これを130台から140台位に抑えるような検討をしております。交通の調査も行ったのですが、非常に交通量が多い道路でございます。約4,000台位が1日に往来している事が分かっています。その内、最大1日200台の増加であったものを130台から140台位、増加する日があると御考えください。今日ご了解頂ければ、原則北側から南側への車両の動線は今のところ渋

滞等を招いておりませんので、こちらを原則とさせて頂きたいと思っております。先程言いましたように石手川の土手まで完全に抜けさせ、狭い道を大型車両等が行くことのないように周知徹底を図っていきたいと思います。まれに大型のトレーラー等の搬入もございます。これは、どうしても北側から左折で入れないような車両が出た場合は、車の多い時間帯を避けて、早朝及び深夜に搬入致しまして、中に入ればエンジンをすぐ止めて、騒音等ないように進めてまいりたいと思います。一部そういう車は南側からのルートを通るという事も想定されております。車両に関しましては、今後も随時、連絡協議会を開催させて頂きまして、協議を継続していきたくと考えております。以上で工事の方の説明は終わりになりますが、質問等はございますでしょうか。

(質問者 A)

私のところがちょうど北門の真前でございます。ほんで、何か今のお話では、北側からも搬入や駐車場の解体物資が出入りするということですが、私とかが駐車場の所の入口になっておりますが、それで非常に支障が出ると思うんですが、その辺は、考えてもらっておるんでしょうか。それと、今の北側の門よりかは西側の真ん中辺で、分散して出入りするようにはならないのでしょうかね。その辺をお聞きしたいのですが。全部、あの北側の門から出るんですか。

(大成建設)

メインはですね、ほとんどの車両は西側の入口を使用する予定でございます。

(質問者 A)

あの、今の駐車場壊したモノもですか。

(大成建設)

それも西側です。

(質問者 A)

(動線説明用のスライドの北側道路に書かれた線をさして) その青の線は何ですか。

(大成建設)

一部、北側からでないといけない材料、必要な材料の搬入等はこちらを使わせて頂きたい。

(質問者 A)

私がね、50年間ここに居ますけれど、今の県立病院を建てる時、それから救急センター・周産期センター、それらをやる時、駐車場をこしらえるときには、一番迷惑をうけ

たのは私なんです。一番、僕は迷惑かかっとなです。で、今回のあの駐車場あたりがですね、あこで、支障がおこったんでは私も困るんですが、その辺の対策はどういうふうにしてくれるんですか。

(大成建設)

(動線説明用のスライドの該当箇所を示しながら) 車両については、

(質問者 A)

その下の道です。その駐車場です私は。あこの角です。そっから主に現在ある立体駐車場の廃材を出すのであったら、大変な迷惑が掛かるんですが。

(大成建設)

廃材はこちらからは出しません。新築工事の、先程の 1 号館の工事の資材の一部、廃材は全て西側のゲートを使用します。

(質問者 A)

公共の事業ですから、私共も当然協力を致しますが、今までに長い間本当に迷惑をかけられたから、今回もそういう事が続くと耐え切れないので、私らもどこかへ移転せないかんと思っておるんですが、まあ今回は、多少、建築物が下がって、3 段階に下がって、真ん前に高いものができるわけじゃないんですけど、まあ、駐車場とか、あるいは物の搬入・搬出、そういった事は一番僕達の所に迷惑が掛かると思う。駐車場はあれ出入りする時に困るんですよ。だから、ガードマンを置いたりしてきちっと対応してもらわん事には、商売上は困ると思うんですよ。

(大成建設)

はい。警備員はですね、必ずこちらに立てまして、一般車両の誘導と歩行者の安全を最優先にいたします。又、道路の美化、土を引っ張ったりという事のないように、最善の注意を払ってまいりたいと思っています。

(質問者 A)

ここはね、通学路になってます。そういった事も十分注意してもらいたいと思っております。

(大成建設)

はい。1 号館が出来た後ですね、救急救命センターがあるのですが、そちらの解体工事が予定されておりまして、それはどうしても北側からの出入りじゃないと出られない状況になります。その時も埃が出ないように細心の注意を払いたいと思います。

(質問者 A)

振動と音とね。埃は目に見える。あなた方はご存知ないだろうけど、私のとこの家なんか埃まみれですよ。これは今の交通でもそうです。だから、それ以上のこういうふうなものを壊したりする場合は、もの凄く被害を受けるんです。その辺をよく考慮してもらわん事には困ると思うんです。特に、中央病院の本院が出来る時には、北門は一般車両は入らさんというので約束しとったんですよ。あこの戸は閉め切っとったんです。それがいつの間にか、あこに救命センターが出来たもんやから救急車だけ入ることが出来るような話やったんです。ところが今は平然とタクシーは入りますし、一般車両は入れるし、出入りするようになってしても、交通上非常に変な状態になっとんです。末広町はもっと交通量が多いから大変やと思いますけれども、私とこの道はコミュニティー道路と言いましてね、大型車が通れんような道路になっとるんですよ。一方通行になっとるんですよ。そういうふうな狭い道なんでございますので、交通については特に注意を払ってもらわんといかんと思います。

(大成建設)

はい。細心の注意を払うように致しますので、宜しくお願い致します。

(質問者 B)

すみません。良いですか。Bと申します。お世話になっております。あの、不透水工事の壁の件なんですけど、1号館地下工事のこれだけの部分を全部こうして囲うわけですか。

(大成建設)

(1号館地下部分の東側をさして) この辺はですね、地下がありません。免振構造になっておりますが、その基礎の部分だけになりまして、深さが約3.5mの掘削になります。3.5mだと地下水が出ませんので、SMWの壁の位置というのを地下1階がありますこの範囲、ほとんど全体に近いですけども、この範囲をSMWで止水する予定でございます。

(質問者 B)

あのですね、ちょうど県立中央病院から言うと西側の一角の、工業高校と南高・カタリナのちょうどあの一角ですよ。あの中で、だいたい50年近く住んでおられる方がかれこれおいでなんですが、最初の頃はほとんど井戸なんですよ。で、だいたい井戸の枚数が6枚位なんです、土管みたいなやつ埋め込んであるのが、15m位の所に粘土層があるんですけど、これは、ウチもボーリングやった結果それは分かっとるんですけど、あの、その上のように粘土層の上の水を使ってる家庭が結構あると思うんですよ。ちょう

ど県立中央病院側から西向いて水は流れてますので、それだけ囲ってしまったら、おそらく干上がる所も出てくるんじゃないんですかね。

(大成建設)

地下水の流速の方はだいたい一日に 20cm 位しか流れてない状況でございます。そういう事が非常にこの地域の水が綺麗な要因だともっています。つまり、砂の密度が非常に濃くて、これがフィルター代わりになって、綺麗な水が豊富にある。川では水の流れ速いと途中に石とかがあるとその裏で水位が下がったりするのですが、非常に流れが緩やかだとそういう事が起こりにくいと同じように、今のところ遮水したから、この辺の水がなくなる事はないのではないかと想定しております。

(質問者 B)

ウチの家からまだ西向いて、4 軒ほどあるんですが、皆さん井戸を使っておいでるんですよ。だいたい 6 枚前後です。昔の土管の手掘りの分ですから。で、それだけ掘って、粘土層まで入れてしまうと、ひょっとするんじゃないかなという懸念はあるんですが、その辺りはまたおいおいご相談させて頂くことにして。

(大成建設)

敷地内及び敷地外に観測井戸を設けておりまして、大体 10 分に 1 回自動で水位を測るような装置を現在も設置しております。当然、掘削・山留工事始まりましたら、ちょうど（1 号館北西角の病院敷地をさして）この辺りに設置しておりますので、水位というものを常に監視しながら工事の方を進めていきたいと思っております。また、その水位に異常等がございましたら、この周辺の皆様方にすぐご相談して、対応していきたいと考えております。

(質問者 B)

分かりました。その時にまた相談させて下さい。

(大成建設)

宜しくお願いします。

(質問者 C)

C と申します。駐車場解体されるところでですね、横に自転車置場と単車置場とかがありますよね。あれはどちらの方になるんですかね。結構、自転車とか単車で通われとる方も多いんで…。

(愛媛ホスピタルパートナーズ)

ご説明致します。(既存立体駐車場の東側をさして)この部分ですよね。おっしゃって頂いたのは、工事の前、立体駐車場を解体する準備にかかる前に、この部分の駐輪場を、プレハブ研修棟の周囲にもうけてあります駐輪場に移動して頂くような院内通達を出しております。来週から(北側の門の前をさして)この位置で朝入ってくる方々にその旨をご説明致します。あと、西側にも駐輪場を作るんですが、そちらの方へ二輪車を移動してもらい、(既存立体駐車場の東側をさして)こちらは二輪車を止められないような形になります。

(質問者 C)

まあ、車の場合はね、大きいからまあ入ってこう分かると思うんやけど、自転車で通勤されたりね、通院される場合は意外と分からん人が多いと思うから、分かりやすいようにしてあげたらと思います。

(愛媛ホスピタルパートナーズ)

はい。そのあたり、きちんと分るようにしていきたいと思っております。

(質問者 C)

以上です。

(愛媛ホスピタルパートナーズ)

ありがとうございます。

(質問者 D)

Dです。お世話になります。今も、騒音の問題とか、振動の問題とか、粉塵の問題とか、水の問題とか、こういうふうに出てますけれども、今までもそうしていただいているんですけども、やはり地域住民の声をね、その時々々に汲み上げて頂いて、誠意を持った対応をして頂きたい、というふうに思いますので、引き続き宜しくお願いします。

(愛媛ホスピタルパートナーズ)

分かりました。引き続き協議会等もさせて頂きまして、皆様の声をお聞きしながら、またご協力も頂きながら、工事の方を進めさせて頂けたらと思っております。宜しくお願いします。

(質問者 E)

よろしいですか。Eいます。既存の立体駐車場何ですけど撤去工事に関しまして、石綿の撤去工事をされますが、その時に立体駐車場つちゅうのは仮設工事としては囲われるんですか。それとも石綿外す時は、養生か何かをされてやられるという事ですか。

(大成建設)

法律に則ってですね、完全に密閉され状況を作りまして、飛散していないか環境観測致しまして、完全に密閉された中で除去作業を行います。除去が終わった後もですね、同じく測定致しまして、飛散がないことを確認した上で養生を撤去する、これは法律でも定められておりまして、労働基準監督署及び松山市の環境課の方にも届出を出して進めていく工事でございますので、その辺はきっちりと工事を進めていきたいと思っております。

(質問者 E)

もう一つ、水位は自動計測されると言いましたが、ペーハーの方は、自動計測とかそういうのはどういうふうにご考えておられますか。

(大成建設)

排水ですよ。

(質問者 E)

排水じゃないです。取水位置に関しての測定頻度を言うております。

(大成建設)

ペーハーの方も測定しまして、自動計測は行っておりませんが、工事が開始されましたら、日々観測をしていきたいと思っております。今のところ 1 日 1 回は最低でも行なうという頻度で考えております。

(愛媛ホスピタルパートナーズ)

それでは、次にですね、今、立体駐車場（1）という工事を進めておりまして、もう完成致しております。そこで、立体駐車場（1）を4月17日の土曜日の朝7時から運用を開始しようと思っております。朝7時をもちまして現在の立体駐車場の使用を停止致しまして、その時間で切り替える形をとろうと思っております。新しい立体駐車場の駐車台数につきましては、現状から約180台減ります。それで病院の中の方にも公共交通機関の利用を呼び掛けさせて頂いております。それから、病院の正面玄関は（現在の本院入口をさして）こちらに本院の入口がありますが、ちょうど工事のエリアが近接するものですから、病院入口の東洋医学の西側の面、こちらに入口を作っております。この入口の供用開始も4月19日の月曜日から、こちらからの患者様等の新入口として使用開始を考えております。それから、救急車が入ってくる所ですが、今まで北側から救命救急センターの西の玄関の方へ救急車が入って来ておりましたが、救命救急センターの東側からの救急車の進入へと切り替えさせていただく予定でございます。

それに伴いまして、道路の一部、(救急救命センター北側道路のコミュニティー道路から薬師寺西側までをさして) この約 10 数mが一方通行になっていたのですが、町内会の方々のご協力をいただき、警察の方に届出致しまして、一方通行を解除させて頂いております。こういう形で出入りも変更させて頂いております。この部分で何かご質問ございませんか。

< - 意見無し - >

(質問者 F)

一般質問かまんですか。失礼します。協議会メンバーに入れさせて頂いておりますので、先日、協議会が開催された際、県の方にお願い申し上げましたが、現状から見て、一住民としてのお願いを申し上げます。3点ございます。

まず第一点は、正門が 20m 南へ移行することによって、停止線、車線変更等が行われました。皆さんご存知の通りだと思います。これは道路を拡げる事によって渋滞緩和を図れるんじゃないかというような前向きな姿勢で取り組んだわけでございます。多少利便性は高まったかと思えます。しかし、20m 南に寄ったにも関わらず、停止線は以前のまま、そして何が起きているかという、私たちの家から、南向いて出る時に、三車線になった為に、出にくい現状がございます。停止線は、20m 正門が移動した事によって、当然変るべきという事で、これは住民の最初の意見交換会の時に、私は提案をしたのがその点でございます。停止線の問題。それから当然、南の利用者の利便性も図り、尚且つ南へ寄ることによって横断歩道は 2 箇所を設置すべきやないでしょうかという事を申し上げたと思えます。この 2 点について、お願いを申します。

まず、停止線は、20m といわなくても 10m 近くは下げて頂かないと、私とこの営業は全く止まってしまうという事、又、私の車も出るのに、現在まで前の方に渋滞して、しかも県病院入口とご丁寧に矢印まで右折をつけておられますけれども、この車は北から南へ直進車が全部通り過ぎてしまわなければ右折が出来ないわけですから、そうこうしていると北向いて市中に入ってくる車がどんどん走るので、危なっかしくてあんまりもう南向いてはさがれないというのと、もう一つ言わせてもらったら、聖カタリナの方は先程も出ていましたが通学路でございますから、8時半までは進入禁止。そういう状態の中で、じゃあどうしたらいいんでしょうかと言う事を考えて頂きたいと思えます。

さらに、もう一つ付け加えさせて頂きますと、この三車線にする事によって利便性は高まったようですが、ご案内の通り、現在の大成建設さんの前の三車線、即ち、正門から北側にある三車線の中央は、進入したらいけませんよという斜め線が入っています。協議会終わってから後にもですね、一番、東側、県病院寄りの所へ停めた車が、青のなった途端に右折をして聖カタリナの方へ曲ろうとするのを見かけました。それは南から北へ直進ないし、右折する車があればですね、そこで止まっちゃうわけですね。そうすると今後、交通渋滞、それから交通事故危険性等も伴いますので、あの中央の斜線は、

右折の矢印に変えてもらって、末広町ないし、聖カタリナ方面に進入される方に便利な矢印に付け替えて頂きたい。それは、県の方に言うのは無理かもしれませんが、私もそれから以降、市のある人に話したら、「交通安全協会の元締めは県ですよ」と、いうふうな事が出てまいりました。担当者でないので、あれをどういうルートで斜線を引き直したのか私には分かりません。しかし、県病院を改良する事によって、波状的に起こった問題ですから、県病院課の方も、これは大成さんに言う事は出来ませんが、県病院課の方は、手順を踏みながら、町民に協力せいというのならしますけれども、やはり、新設にともなうところの問題ですからお考え頂きたいと思います。

それから更にもう1点、あの横断歩道の二つ付ける事が出来ないというところも、理由の一つとして三叉路には両面には付けられないという交通安全協会のお話でしたという事は県の方、先般おっしゃられたんですけれども、私は、あれは、まがりなりにも、十字路と理解しております。即ち、県病院入口は、例のカラー舗装がございません。あれは道路です。このあいだまでは橋を利用して県病院に入っておりました。ところが、その橋は撤去してコンポにしました、上を通れるようにした、これは即ち道路です。もう少し具体的に言いますと、伊予鉄そごうの時に、そごうの倉庫なんかは橋を通過して入れておりました。長い長い橋で、しかし交通の問題が漸次おきてまいりまして、私たちは市の言うように、それはコンポにして道路に使わせてやろうというふうな事で現在使用していて、交通渋滞は緩和されましたが、明らかに道路としての使用です。即ち、現在、正門を利用していますところですが、あれは道路が一部あるという事で、完全な十字路であるというご認識を頂かないと、三叉路だというふうな解釈をして頂くと、そこに横断歩道の設置の条件が満たされません。さらにもう一つ、小栗町、専売公社・JTの跡にスーパーマーケットが出来ました。出来た途端に三叉路であるべき道に何故、横断歩道が両面に出来たかと。二つ出来上がっております。これは、まったく前段、県の方がどこで聞かれたか、「三叉路は両面には横断歩道は付きません」という事と相反すること。即ち我々住民の支障になるような事は「出来ません」なのに、量販店・スーパーマーケットのような企業に対して、それはどういう所で許可して出来たのか。我々室町に住む住民としては、横断歩道はやはり、両面に付けるべきだという事でお願いを申し上げますので、ここあたりの改善を是非図って頂いて、正門を利用されるのは結構でございます。私達は、良かれと思って賛成しておるわけでございますから、共生というか、共に生きるというのが共生です。住民と県の施設とが共に支障のないように円滑なる取計らいをお願いしたいという事でご提案申します。以上です。

(県)

失礼致します。今のご提案は県に対するご提案という事ですので、重々受け止めております。協議会の中でもご説明は一部させて頂いておりますが、横断歩道の設置でありますとか信号機による交通規制ですとかは警察の方が所管しております。道路につきましては、市道ということで松山市役所の管理となります。しかし、私共も今回この工事

を実施する中で如何に円滑な工事をするか、病院の建替えにあわせまして如何に近隣の皆様やこの病院に通われる患者さんの安全を確保するかという事は、非常に重要な事だと認識しております。協議会の中でも、先程ご提案ありました内容についても御伺いしております。随時、警察、松山市の方と協議を進めております。出来るだけ今のご提案が実現出来る様に県の方も精一杯頑張りますので、宜しくお願いします。

(愛媛ホスピタルパートナーズ)

それでは、そろそろお時間となりましたので、このあたりで本日の説明会、終了とさせていただきます。今後とも皆様ご協力頂きまして、安全に工事の方を進めていきたいと思っております。本日はどうもありがとうございました。